



見事なまとい振り。



整然と行進する女性消防団。

大館市消防団の伝統の出初め式が行われました。分団旗やまといを先頭に、消防団員ら950人が消防車を連ねて常盤木町から大町商店街まで行進。大町いっぱい整列して小畑市長らの観閲を受けました。

恒例のまとい振りでは、大館消防団から24本のまといが参加。最初に当番の7分団が「三々九度」で先陣を切り、全員で4演目を披露。鐘の合図で鮮やかにまといが振られると、見守っていた市民からは大きな拍手が上がっていました。

無火災を祈り、
消防出初め式
(1月5日)

大館市親子読書会(成田和子会長)が主催する「冬休み絵本を楽しむ会」が中央図書館で開かれ、集まった約150人の子供たちと保護者が、絵本や芝居、人形劇の世界を楽しみました。

親子読書会は、夏休みと冬休みには「絵本を楽しむ会」を開いています。今回は、国際情報学院、大館桂、大館鳳鳴の3高校の図書委員と市のALTの皆さんが、八つの物語を披露しました。参加した子供たちは目を輝かせて物語の世界に浸っていました。

ALTが英語の絵本で読み聞かせ。



楽しい物語の世界へご招待
(1月9日)



手を取ってもらいながら、一生懸命に書き上げました。

老壮大学の学生らと子供たちが触れ合いながら書き初めをする、書き初め交流会が中央公民館で行われました。

この書き初め交流会は、子供たちが書道に親しみながらお年寄りと交流してもらおうと毎年開催しています。この日参加したのは、小学校1年生から6年生までの子供たち25人と、老壮大学の書道クラブの会員9人。学年毎に違う課題を前に、子供たちは真剣な表情。とまどう子供たちに、お年寄りが手を取って指導し、立派な作品ができあがりしました。

書き初め交流会で世代交流
(1月4日)



地場産品の競り風景。

厳しい寒さとなった5日朝6時30分、大館市青果魚類卸売(株)(天印)の初競りが行われました。景気回復を願う、3本締めが続いて、いよいよ地場野菜から競りが始まりました。次々と商品を競り落とす、威勢の良い声が響いていました。

新春の初競り

(1月5日)